

公益財団法人中東調査会
令和 5 年度定時評議員会議事録

1. 開催日時 令和 5 年 6 月 27 日（火） 午後 2 時 58 分から午後 4 時 18 分
2. 会 場 東京都千代田区平河町 1-1-1 平河町コート 6 階
公益財団法人中東調査会 会議室
3. 評議員現在数及び定足数
評議員現在数 4 名 定足数 3 名
4. 出席評議員数 4 名（役職順、氏名 50 音順）
本人出席 関場 誓子（議長）、須藤 隆也、高島 肇久、渡辺 喜宏
5. 出席理事及び監事（役職順、氏名 50 音順）
理事 佐々木 幹夫 会長（代表理事）、齋木 昭隆 理事長（代表理事）、
浅子 清（業務執行理事）、山内 昌之 常任理事（理事）、細野 哲弘 常任理事
（理事）
監事 越 和夫
6. 議長の氏名 関場 誓子
7. 議題
【決議事項】
第 1 号議案 議長の選出
第 2 号議案 議事録署名人の選出
第 3 号議案 令和 4 年度事業報告及び決算書類の承認

【報告事項】
令和 5 年度定時理事会の決議内容
8. 議案の審議状況及び議決結果等

【決議事項】

第 1 号議案 議長の選出

齋木 昭隆 理事長が、定款第 23 条に定めるところにより本会議の議長の互選を求めたところ、出席評議員全員一致にて、関場 誓子 評議員を選出した。（以下、関場 誓子 評議員を「議長」という）

議長は、定足数の充足を確認したうえで、本会議の成立を宣して、議案の審議に移った。

第 2 号議案 議事録署名人の選出

議長が、定款第 27 条第 2 項に定めるところにより本評議員会議事録署名人の選出を求めたところ、出席評議員全員一致にて、高島 肇久 評議員を選出した。

第3号議案 令和4年度事業報告及び決算書類の承認

議長の求めに応じ、齋木理事長が概要説明を行い、次いで、青木 健太 研究主幹及び金子 真夕 事務局長兼主任研究員から、事業報告及び決算書類について議案書に基づく詳細説明がなされた。

また、越 和夫 監事から、監査の方法及びその内容ならびに監査意見として、事業報告書は法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めること、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められないこと、また、計算書類及び附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める旨の監査報告がなされた。

審議の結果、原案どおり出席評議員全員一致にて承認可決された。

【報告事項】

齋木 昭隆 理事長（代表理事）および浅子 清 副理事長(業務執行理事)から次の報告が行われ、出席した評議員全員が了承した。

令和5年度定時理事会の決議内容

I. 審議事項

第1号議案 令和4年度事業報告書（案）

第2号議案 令和4年度決算報告書（案）

第3号議案 顧問の交代

第4号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等（案）

II. 報告事項

その1 会員の動向

その2 職員の動向

【その他】

須藤評議員より、外務省での入札が年を追うごとに厳しさを増しているにも拘らず、収支決算書の「その他受託収益」欄に収入（事務局注：外務省国際情報統括官組織第四情報官室の湾岸ユニット案件）が計上されておりご苦労されて落札したとわかる、中東調査会による財務基盤の拡大に向けた地道な取り組みに敬意を表する、とのコメントがあった。また同評議員より、外務省総合外交政策局政策企画室から受託した調査研究事業補助金案件では、中東ユーラシアにおける日本外交の役割を提言するとの説明があった、野心的ではあるが現下の情勢に鑑みれば大変意義ある事業だと考える、ぜひとも成果を期待したいとのコメントがあった。

渡辺評議員より、中東調査会は少人数ながらも質の高い成果を着実に上げており敬意を表する、中東と他の国・地域の関係に関する最近の研究は興味深く、特にインドと中東、中国と中東に関する中東分析レポートに関心を持って読ませていただいた、とのフィードバックがあった。

また、関場評議員より、デジタルに移行するジャーナルも多い中、『中東研究』は紙媒体で発行を続けている、『中東研究』が手元に届くと中東調査会のプレゼンスを感じることができる、今後も紙媒体での発行を続けて欲しいとの要望が示された。また、同評議員より、中東調査会ホームページは地味だけれども、使い勝手が非常によいため高く評価している、常日頃より参考にしている、とのコメントがあった。

また、須藤評議員より、前上席研究員の金谷美紗氏はエジプト及び周辺諸国に関する確かな研究をされていたとの評価が示され、その上で、今後エジプトや中東和平を専門とする研究員の採用は検討していないかとの質問があった。これに対して、浅子副理事長より、研究員の公募状況を説明し、中東調査会に相応しい方がいれば是非紹介いただきたいと応じた。

齋木理事長より、我が方の中東大使が大使会議で帰国する機会を捉えて、6月30日に日経新聞と協力して中東大使との座談会を企画した、中東における地殻変動の動向、及び、ウクライナ戦争の食料・エネルギーへの影響を中心に鼎談する予定であると説明した。

最後に、佐々木会長より、サウジアラビア・イランの国交回復、シリアのアラブ連盟復帰など、中東では大きな出来事が立て続けに発生している、中東を長く見てきたが歴史的にも大きなことが起こっているとの予感がある、研究員におかれては、点、線ではなく面で、またグローバルな動きの中で捉えて、調査研究に当たってもらいたいとの発言がなされた。

以上をもって、すべての議事が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。

この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は記名押印する。

令和5年6月27日

公益財団法人中東調査会評議員会

議 長 関場 誓子 印

議事録署名人 高島 肇久 印

別紙

1. 令和4年度事業報告書
2. 令和4年度決算報告書
3. 監査報告書

以上

本議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

副理事長 業務執行理事 浅子 清

事務局長 金子 真夕